

第416号  
平成31年

4月 25日

# すまいるたうん



発行元  
東京新聞  
南千住東口専売店  
TEL5850-3699  
発行責任者  
鬼塚 佳代子  
TEL090-2657-0300

子どもと過ごす至福の時間  
あらGに参加しませんか

「子どもが好きな方なら誰でも」

あらGとは荒川区の育じい&ガールの総称です。地域の子育て親子のお助け隊で、子どもと一緒に童心に帰って触れ合う会です。七年前に立ち上げ、七十歳以上の男女八名が参加されています。



活動場所は、主に荒川社会福祉協議会三階にあるおもちゃ図書館や町屋のおたけの郷で開催されるおもちゃの図書館です。

「思いやりのある子どもに」

家族の形態が変わり、小さな子どもと関わったことのない高齢者もたくさんいます。また、祖父母に中々接することができない子どもも多くいます。介護現場で働く若者は、おばあちゃんやおじいちゃん子だった人が多くいます。高齢者と触れ合うことで自然と他者への思いやりが育まれます。

「自分に役割ができる」

子どもと高齢者の世代間交流は双方にメリットがあります。やることがない。人の役に立っていない。と、思っ

ている高齢者も少なくありません。しかし、子どもに昔の遊びを教えたり、積み重ねた知識を伝える場所があると役割ができます。また、子どもの元気な声は高齢者に活力を与えてくれます。生き生きとした生活に繋がります。



「茶飲み友だちを作る感覚で」

子どもだけでなく、パパやママとの交流や参加されるあらGのメンバーとの交流もあります。

「自分が楽しんで」

あらG代表の清永博さんは、笑顔で帰る親子の姿に喜びを貰っています。

定年退職後



清永博さん (69歳)

に始めたあらGで、今までやったことのなかった折り紙や工作に自然と取り組んで楽しさを再発見したと話されています。

また、清永さんは荒川冒険遊び場の会(第二日曜十時~十五時 西日暮里公園)にも参加され、木登りやどろんこ遊びな

子どもとの外遊びにも取り組まれています。

「一歩踏み出して」

「もう〇〇歳」と「まだ〇〇歳、何ができるかな？」あなたはどちらの捉え方をしますか。

「まだ」と捉えることにより意欲的な気持ちにいつもなれます。踏み出すことで変化が生まれ、新しい出会いが始まります。

令和の五月、あなたの笑顔が優しい空間を生みます。一歩踏み出して子どもの笑顔が見られるあらGに参加しませんか。

## あらG

会費無料

活動日：毎週水曜 10時~15時 (おたけの郷)

：第3木曜 10~12時

第4土曜 10~12時

(荒川区社会福祉協議会 3F おもちゃ図書館)

お問合せ

荒川ボランティアセンター

TEL：03-3802-3338 FAX：03-3802-3831

E-mail：vorasen@arakawa-shakyo.or.jp